

SEC journal 懸賞論文プロフィール

「WBS に基づくプロジェクト管理システムの実現」

原田 晃（日本電子計算株式会社サービス統括本部，本部長，博士（情報科学））

栗根 達志（株式会社日立製作所情報・通信グループ プロジェクトマネジメント統括推進本部，主任技師）

伊野谷 祐二（株式会社日立製作所情報・通信グループ プロジェクトマネジメント統括推進本部，主任技師）

大里 立夫（株式会社日立製作所情報・通信グループ プロジェクトマネジメント統括推進本部，技師）

大野 治（株式会社日立製作所情報システム事業部，事業部長，工学博士）

松下 誠（大阪大学大学院情報科学研究科，准教授，博士（工学））

楠本 真二（大阪大学大学院情報科学研究科，教授，博士（工学））

井上 克郎（大阪大学大学院情報科学研究科，教授，工学博士）

エンタープライズ系ソフトウェアの開発プロジェクトは、プロジェクトメンバが多く、作業や成果物が膨大であり、また、作業にあたって参照する資料が膨大なために、効率的なプロジェクト管理を支援するシステムが必要となります。私たちは、作業や成果物に関連する多くの情報を相互に関連付けして一元管理するための WBS モデルの作成と、その WBS モデルを利用したプロジェクト管理システム「プロナビ」を開発し、現場への適用を進めてきました。

WBS はプロジェクトで遂行する作業を、成果物に着目して管理しやすいレベルまで細分化した階層図ですが、WBS の構成要素である各作業に対し、担当者、成果物、スケジュールと実績、作業遂行に際して参考にする資料等の情報を付加したものをプロナビ WBS と呼びます。プロナビでは、プロナビ WBS の管理及び成果物の構成管理や参考資料の文書管理をサポートしており、プロジェクトの管理者や開発者は、PC 上の Web 環境からほとんどの作業を遂行できるので、効率よいプロジェクト管理を実現できます。

プロナビは 2000 年 3 月から現場での適用を開始しており、これまで累計で約 3,000、常時 500 を超えるプロジェクトが適用しています。プロナビを利用したプロジェクト管理者にアンケートやヒアリングを実施しましたが、ほぼ全員が満足しており、特にプロジェクト状況や成果物等の情報の一元管理を高く評価している人が約半数いることを確認できました。